

特集

人を区別する

トラとライオン，人とロボット，自分の物と他人の物，……。あるものを他から区別することは生活に欠かせない活動です。そのなかでも私たちが得意とするのは、「人」の区別かもしれません。社会で生きるために，人は「人」を区別するメカニズムをもっています。このメカニズムは，目や耳に一瞬だけ入った情報からでも，それがどのような人かについての処理を促し，人種や性別，さらには人柄や能力などまで推測させようとします。ただし，これは意識して丁寧に行われる処理ではないため，エラーやバイアスをまねくこともあれば，差別，人命の軽視，社会の分断といった問題を生み出す要素にもなります。

本特集で取り上げる「人」の区別は，環境にある情報から人の動きを抽出する，乳幼児期から人の顔を見て様々な区別をする，自分と他者を極めて自然に区別する，仲間とそうでない者に異なる判断や処遇をするというものです。「人」を区別するメカニズムはどのようなものであり，私たちの生活にどのような意味や影響をもたらすのでしょうか。その謎に迫る研究をご覧ください。

(大江朋子)